

松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について

1 松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について

松伏町立金杉小学校の児童数は減少傾向にあり、平成28年5月1日現在の推計によれば、平成30年度には全ての学年が単学級となり、平成34年度の新入学児童は18名となります。

このことから、小規模校の活性化を図るため、松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について検討しています。

2 検討内容

(1) 松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について

小規模校の活性化を図るため小規模特認校制度を実施し、通学区域の弾力的運用を行い、他の通学区域から松伏町立金杉小学校への通学を希望する保護者及び児童に対しては同校への通学を認めること。

(2) 中学校進学時の取扱い

他の通学区域から松伏町立金杉小学校に通学した児童の進学先については、原則として住所地により指定するが、保護者及び児童の希望により松伏町立松伏中学校への通学を認めること。

3 今後のスケジュールについて

時期	内 容
6 月	松伏町立小中学校学区審議会（以下「学区審議会」という。）委員を委嘱 松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について学区審議会に諮問
6 月 ～ 8 月	学区審議会が会議を実施し、諮問を審議し、教育委員会に答申
8 月	学区審議会からの答申に基づき、教育委員会において方針を決定
9 月	松伏町立小中学校通学区域に関する規則の改正
10 月 以降	松伏町立金杉小学校への通学を希望する児童の募集を開始